

特選講師情報

リストNo 14669

2025/01

講師派遣の **ブレンバンク** 株式会社

〒530-0055

大阪市北区野崎町6-7大阪北野ビル

TEL:06-6315-7591 FAX:06-6315-0506

担当者：大瀬 恵美

●講演会をする場合は

- ①講演時間は、標準90分です。
- ②講演企画料は、源泉税込み(単位万円)です。
- ③講演企画料には、消費税が別途必要です。
- ④実施の場合は、旅費(交通費・宿泊費)が必要です。
- ⑤※印は、旅費2名分が必要です。

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： **B**
BEST9

専門はロシアの軍事・安全保障政策、宇宙政策、危機管理政策など。

● 日本の安全保障：大文字と小文字で語る

小泉 悠

東京大学先端科学技術研究センター 准教授

1982年千葉県生まれ。'05年早稲田大学社会科学部卒業。'07年同大学大学院政治学研究科修了(政治学修士)。民間企業勤務。'09年外務省国際情報統括官組織専門分析員。'10年ロシア科学アカデミー世界経済国際関係研究所客員研究員。'11年(公財)未来工学研究所研究員就任。主な著書に『ロシア軍は生まれ変わるか』(東洋書店'11年)、『[図解]武器・兵器の秘密』(PHP 研究所'14年)、『軍事大国ロシア』(作品社'16年)、『プーチンの国家戦略 岐路に立つ「強国」ロシア』(東京堂出版'16年)。TV、ラジオなどのメディア出演多数。

- (他のテーマ)
- ・ 中距離ミサイルをめぐる東アジア情勢
 - ・ ロシア・ウクライナ戦争と日本の安全保障



講演料： **B**
BEST9

情報通と呼ばれる人が、ネタを仕込みにくる講演会を目指しています

● 世界の視点で考える日本経済の行方

吉崎 達彦

双日総合研究所 チーフエコノミスト

1960年富山県生まれ。一橋大学社会学部卒業後、日商岩井(株)に入社。広報誌『レトピア』編集長を経て、米国ブルッキングス研究所客員研究員、経済同友会調査役などを経て、日商岩井とニチメンの合併により'04年より現職。自身のホームページ「溜池通信」にて、米国の政治経済について鋭く分析したレポートを配信。産経新聞「正論」、毎日新聞「ナビゲート」、中央公論「時評2015」などで連載コラムを持つほか、TV東京朝日「モーニングサテライト」コメンテーターなど、テレビ・ラジオでも出演多数。著書に『オバマは世界を救えるか』『世界経済連鎖する危機』などがある。

- (他のテーマ)
- ・ 日本・世界経済大予測
 - ・ 米新政権の行方を読む



講演料： **D-F**
BEST9

元・総務大臣秘書官 テレビの露出度とともに依頼数も急増中！

● 日本経済再生なるか～地方の若き原動力が日本の経済を救う

岸 博幸

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授

1962年生まれ。東京都出身。一橋大学経済学部卒業、コロンビア大学ビジネススクール卒業。1986年通商産業省(現経済産業省)に入省し、産業政策、IT政策、通商政策、エネルギー政策などを担当。経済財政政策担当大臣、総務大臣などの政務秘書官を歴任し、不良債権処理、郵政民営化などの構造改革を主導。エイベックス取締役、ポリシーウォッチ・ジャパン取締役などを兼任。2021年7月内閣官房参与に任命される。著書に『ネット帝国主義と日本の敗北』『アップル、アマゾンが日本を蝕む』など。近著に『オリンピック恐慌』(幻冬舎・2018年1月)がある。

- (他のテーマ)
- ・ 地域活性化の鍵～自身で考え創造・行動
 - ・ 日本を変える～時代が求める新しい成長産業のカチ



講演料： **B**
BEST9

「世界一受けたい授業」「坂上&指原のつぶれない店」などに出演

● ピンチをチャンスに変えるために！～今、経営者がすべきこと

中村 智彦

神戸国際大学経済学部教授

1964年生まれ。上智大学卒業後、タイ国際航空、PHP総合研究所を経て、大阪府立産業開発研究所国際調査室研究員として勤務。2000年名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程を修了(学術博士号取得)。その後、日本福祉大学経済学部助教授を経て、現職。愛知県愛知ブランド審査委員、山形県川西町総合計画アドバイザー、東京都北区産業活性化ビジョン検討委員会副委員長など自治体や団体の役職を務める。2017年4月からヤフーニュースオーサーとして記事を執筆。11月には「月間MVA(Most Valuable Article)」を受賞。毎日新聞ウェブ版「経済プレミア」にも連載中。

- (他のテーマ)
- ・ 中小企業の生き残り戦略
 - ・ ローカルで光を放つ～地域経済の活性化策

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： B
BEST9

全ての現場を「Disneyランド」やUSJのようなワクワクする価値を創り出す組織、人材、場へ！

● テーマパークで学び身につけた成果を出し続ける自律型人材育成

今井 千尋

2大テーマパーク 人材育成・人材開発トレーナー

㈱オリエンタルランドへ入社。東京Disneyシー開業時には自社内導入研修講師として数千名の研修を実施。その後、合同会社ユー・エス・ジェイへ転職。森岡毅氏がマーケティング本部長時代、直下プロジェクトであるゲストサービス向上施策にも立ち上げメンバーとして参画。各部門及び全社的なCS向上、CS人材を育成。企業内大学の創設に一貫して携わる等、USJのV字回復期に人材育成・人材開発の側面から支えてきた。2019年より人材育成・人材開発コンサルティング会社を設立。独自のコンテンツは好評。SHIBUYA QWS コモンズにも就任し、スタートアップ企業～大手企業まで人材育成、人材開発分野の有識者として貢献している。

(他のテーマ) ・ 2大テーマパーク流 お客様から愛され続けるホスピタリティサービス
・ 一人ひとりの特徴を活かす組織づくり



講演料： B-C
BEST9

数少ない女性人工知能研究者の一人で『感情を持つ人工知能』研究の第一人者

● AI・IoT がもたらす企業活動や市民生活のイノベーション

坂本 真樹

国立大学法人 電気通信大学 副学長

1969年北海道出身。東京外国語大学ドイツ語学科卒業。2000年東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士号取得。東京大学助手、電通大講師、助教授、准教授、大学院准教授を経て、15年教授。16年より人工知能先端研究センター教授を兼務。国際会議でのベストアプリケーション賞・人工知能学会論文賞など多数受賞。オノマトペや五感や感性・感情といった人の言語・心理などについての文系的な現象を、理工系的観点から分析し、人工知能に搭載。著書『女度を上げるオノマトペの法則』などがあり、テレビ、ラジオ出演、新聞、雑誌の執筆、講演などで多忙中。

(他のテーマ) ・ 感性AIによるマーケティングの可能性
・ コミュニケーションにおけるオノマトペの効果



講演料： C
BEST9

藤井聡太氏の師匠

● 将棋界における部下を伸ばす育成術

杉本 昌隆

将棋棋士

1968年 愛知県名古屋生まれ。80年11才で故・板谷進 九段 門下入り。90年四段に昇段し、プロデビューを果たす。06年に七段昇段。08年にはNHK将棋講座の講師を務める。19年には八段に昇段。2019年3月、第77期C級1組順位戦で9勝1敗の好成績でB級2組へ復帰昇段。50代の棋士の昇段は将棋界では13年ぶり。Bクラスへの復帰者は棋界で30年ぶり。「中年の星」と称される。トーナメントプロであると同時に執筆活動、テレビ出演、講演等もこなす。門下に藤井聡太竜王・名人、室田伊緒女流二段らがいる。将棋の戦術書の著作は20冊以上。

(他のテーマ) ・ ～将棋界における上司部下の関係～
・ ～将棋界における若い世代との接し方～



講演料： B
BEST9

オール一本勝ちで五輪2連覇達成！ <60分講演+質疑応答>

● 夢を叶える思考力

～ポテンシャルの引き出し方

谷本 歩実

女子柔道 アテネ・北京オリンピック金メダリスト

1981年生まれ、愛知県出身。筑波大学卒業後、コマツ入社。女子柔道63キログラム級、アテネ・北京オリンピックで金メダルを獲得。大会史上初となるオール一本勝ちでの連覇となった。2010年引退後はコマツ柔道部のコーチを務める傍ら、栄養士の免許を取得。2013年3月から2年間JOC海外指導者研修でフランスへ留学し、現在、全日本柔道女子チームの特別コーチや、2020年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会理事を務める。一児のママとしても活躍中。

(他のテーマ) ・ 金メダリストの思考回路
・ 私の柔道人生



講演料： A
BEST9

笑い声の絶えない楽しい講演で即実践可能なコミュニケーション技術を手に入れてもらいます～87

● 0秒で心をつかむ魔法のコミュニケーション術

+マジックショウ

ナカノ・マクレーン

マジシャン

2010年ワタグループ創業者 渡邊美樹氏主催「みんなの夢アワード」にてファイナリストに選出。上京後、わずか10日でアパホテル&リゾート(東京ベイ幕張)に始まり、本気の朝礼で有名な(術)てっぺん、六本木会員制バーなど日本を代表する大手企業、有名企業と契約を結ぶ。プロマジシャンとしてデビュー後、わずか3年で10万人を超える人々に感動と笑顔のサプライズを提供し続けている。現在、プロマジシャンとしての活動の傍ら、マジシャンプロダクションの経営や企業研修、講演や執筆活動などその活動は多岐に渡る。また提携・取引企業は1,000社にも及び、歴代総理や各国大使にもマジックを披露。夢は子供たちが夢を語り、叶えられる世界をつくること。また介護施設や、カンボジア、モンゴルへの支援活動にも力をいれている。

(他のテーマ) ・ 「思い通りに相手を操るマジシャンの心理テクニック」+マジックショウ
・ マジックが教えてくれた自分を変える魔法 ～夢・人・絆が生まれるマジック

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： B

元外務事務次官が当時の経験からの教訓も交えながら日米や世界の情勢を読み解く

● 緊迫の国際情勢と日本の針路

■ 中 三十二

大阪大学特任教授/元)外務事務次官

1948年大阪府生まれ。1969年外務省入省、韓国、インドネシア、米国にて在外公館勤務。87年北米局北米第二課長(日米経済摩擦担当)、90年国際戦略2275研究所(ロンドン)主任研究員。91年在ジュネーブ国際機関日本政府代表部公使。95年大阪大学特任教授。98年在シカゴ日本国総領事館総領事。2002年アジア大洋州局長(六者協議首席代表)。05年外務審議官(経済担当・G8サミット・シェルバ)。07年外務審議官(政務担当)。08年外務事務次官に就任。10年外務省退官。主な著書に『トランプ時代の日米新ルール』『世界に負けない日本』などがある。

- (他のテーマ) ・ 国際社会の中の日本、その課題と展望
 ・ 世界に負けない日本～国家と日本人が今なすべきこと



講演料： C

上げ潮派の論客

● 日本経済の現状と金融・税制政策

■ 高橋 洋一

嘉悦大学教授・(株)政策工房 代表取締役会長

1955年生まれ。東京大学理学部・経済学部卒業。80年大蔵省(現・財務省)入省。税務署長、証券局、理財局、官房金融検査部、資金企画室長、国土交通省へ出向、財務省関東財務局理財部長、経済財政諮問会議特命室兼務、2006年内閣参事官。“小泉・竹中改革”中核メンバーとして郵政民営化・道路公団民営化・政策金融機関一本化・公務員制度改革に尽力。07年“霞が関の埋蔵金”暴露で一躍脚光を浴びた。08年財務官僚退官、東洋大学経済学部教授就任。翌年退任。山本七平賞「さらば財務省！」で受賞。

- (他のテーマ) ・
 ・ 日本経済再生のシナリオ



講演料： B

● 日本の未来と課題～政治、外交、社会保障の現場から～

■ 豊田 真由子

医療法人顧問・元)衆議院議員

東京大学法学部を卒業後、厚生労働省(旧厚生省)に入省。ハーバード大学大学院へ国費留学、理学修士号(公衆衛生学)を取得。医療、介護、福祉、保育、戦没者援護等、幅広い政策立案を担当し、金融庁にも出向する。2009年、在ジュネーブ国際機関日本政府代表部一等書記官として、新型インフルエンザパンデミックにWHOとともに対処した。衆議院議員2期、文部科学大臣政務官、オリンピック・パラリンピック大臣政務官などを務めた。

- (他のテーマ) ・ 真の「女性活躍」とは～「光の当たる人」を増やすのではなく、「すべての人に光を当てること」
 ・ 国際社会における日本～危機と展望



講演料： B

元・NHKのスクープ記者。フジTV『めざまし8』コメンテーター

● トランプ政権とメディア

■ 立岩 陽一郎

特定非営利活動法人インファクト編集長

1967年神奈川県生まれ。調査報道を専門とする認定NPO運営「ニュースのタネ」編集長。アメリカン大学(米ワシントンDC)フェロー。1991年一橋大学卒業。放送大学大学院修士課程修了。NHKでテヘラン特派員、社会部記者、国際放送局デスクとして主に調査報道に従事。政府が随意契約を恣意的に使っている実態を暴き随意契約原則禁止のきっかけを作ったほか、大阪の印刷会社で化学物質を原因とした胆管癌被害が発生していることをスクープ。以後、化学物質規制が強化される。「パナマ文書」取材に中心的に関わった後にNHKを退職。公益法人「政治資金センター」理事として政治の透明化に取り組む。毎日放送「よんちゃんTV」にも出演。

- (他のテーマ) ・ 言葉の真偽が問われる時代
 ・ 市民による“ファクトチェック”と“調査報道”



講演料： B

事実認識の共有化を目指して講演を中心に活動中(会場での移動導線は禁煙必須)

● ニッポンの地域力～負けない地域の作り方

■ 藻谷 浩介

(株)日本総合研究所 調査部 主席研究員

1988年東京大学法学部卒業。日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。コロンビア大学経営大学院派遣留学(MBA取得)。94年より(財)日本経済研究所調査局(派遣出向)。99年日本政策投資銀行地域企画部調査役、2007年より地域振興部参事役。09年より1年間DBCシンガポール(株)シニアアドバイザー兼シンガポール政府国際企業庁パートナー。10年より地域支援班参事役。12年より特任顧問、および現職。内閣府地域再生本部「地域活性化伝道師」、中小企業庁「地域中小企業サポーター」など政府関係委員多数。著書に『デフレの正体』『ニッポンの地域力』ほか多数。

- (他のテーマ) ・ 地域経済再生へのカギ
 ・ 日本の未来、考えよう

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： B

● 非常識だからうまくいく旭鉄工のDX

木村 哲也

旭鉄工株式会社 代表取締役社長

1992年東京大学大学院工学系研究科修了、トヨタ自動車㈱入社、生産調査部など21年勤務。'13年旭鉄工㈱ 転籍、'16年旭鉄工㈱代表取締役社長就任、経営全般を大きく改革する中でIoT技術を用いた製造ラインの遠隔モニタリングシステムを構築。そのシステムを全国の中小企業に展開するためI Smart Technologies㈱設立 代表取締役社長。'19年より東京大学 非常勤講師。JDXアドバイザー、愛知県ビジョン策定委員、IPA 社会実装推進委員。ものづくり日本大賞特別賞等受賞多数。著書『Small Factory 4.0～第四次「町工場」革命を目指せ!』(三恵社)。講演会登壇、TV出演、新聞・雑誌掲載。

- (他のテーマ) ・ DXはDよりX～旭鉄工の儲かるDXとCNとは
 ・ 旭鉄工のDXと儲かるカーボンニュートラル



講演料： B

熱く、受講者に元気や勇気を与える!「研修業界の松岡修造」、「信頼と貢献」がモットー

● これからの上司に求められる社員 (Z世代) のパフォーマンスを高める「新し

北 宏志

人材育成コンサルタント/ポールスターコミュニケーションズ代表取締役

1983年生まれ、北海道出身。大東文化大学法学部卒業。'06年(北海道江別市)中学校・高等学校、'09年(大阪府堺市)中学校・高等学校社会科教諭。'12年㈱羅羅屋(ららや)入社。'13年 蘇州巴比榮皮具有限公司(中国)董事長助理、中国大陸で日本製ランドセル販売を3年間で9.7倍に拡大させ黒字化。'16年 帰国し、POLESTAR 代表。'17年ポールスターコミュニケーションズ代表取締役。主な著書に、『新しい教え方の教科書 Z世代の部下を持ったら読む本』(ぼる出版'23)、『ビビリの人生が変わる 逆転の仕事術』(三オブックス'20)。年間130回以上の講演、研修に登壇。海外ビジネスのアドバイザーとしても活躍。

- (他のテーマ) ・ 自他を高めるコミュニケーション ～チームで成果を上げ、役割を見出す
 ・ メンター(後輩指導)育成研修



講演料： B

● 黒船NETFLIXがなぜ日本市場で成功したのか?

グローバル時代の勝ち抜き方

長谷川 朋子

コラムニスト/コンテンツビジネス・ジャーナリスト/放送ジャーナル社取締役

1975年生まれ。放送ジャーナル社記者として、国内TV・ラジオ局取材の中で、放送外収入、特に海外展開に注目。仏カンヌ開催の世界最大規模映像コンテンツ見本市MIPの現地取材など、世界中のクリエイターの声を絶えず収集し、日本人ジャーナリストとしてはこの分野におけるオーソリティとして活動。Netflix、Amazon Prime、Disney+など、年間1000話以上を視聴し、独自の視点で解説した世界的ヒット解説記事は自己最高150万PV。近著に「NETFLIX戦略と流儀」('20年中公新書ラク)。主な連載に、東洋経済オンライン「今見るべきネット配信番組」、Forbes Japan「グローバル視点で覗きたいエンタメビジネスの今」、朝日新聞、ダイヤモンド・オンライン、WEDGE 他多数

- (他のテーマ) ・ グローバル時代のローカルの生き残り方～ヒントはNETFLIXにあった
 ・ 「愛の不時着」から紐とく、デジタル時代のSNSマーケティング術



講演料： E

01年、05年の世界選手権2大会の銅メダリスト・侍ハードラー為末大が伝える“挑戦”の心

● 挑 戦～困難な壁やハードルに立ち向かえ～

為末 大

(元)プロ陸上選手/一般社団法人アスリートソサエティ代表理事

1978年広島県生まれ。法政大学卒業後、大阪ガスへ入社。2003年退社し、プロに転向。『侍ハードラー』の異名をもつ。2012年に現役引退。陸上スプリント種目の世界大会で日本人初のメダル獲得。男子400メートルハードルの日本記録保持者(2014年10月現在)。2001年エドモントン世界選手権・2005年ヘルシンキ世界選手権において、男子400メートルハードル銅メダル。シドニー、アテネ、北京と3度オリンピックに出場。現在は、一般社団法人アスリートソサエティ、Xiborgなどを通じ、スポーツ、社会、教育、研究に関する活動を幅広く行っている。

- (他のテーマ) ・ ハードルを越える



講演料： A

● 企業はメンタルとどう向き合うか

尾林 誉史

精神科医・産業医/VISION PARTNERメンタルクリニック四谷院長

1975年東京生まれ。東京大学理学部科学科卒業後、株式会社リクルートに入社。リクルート時代、社内外や年次を問わず発生するメンタル問題に多数遭遇、解決に向けて付き添う中で目にした産業医の現状に落胆するも、とあるクリニックの精神科医の働き方に感銘を受ける。2006年産業医を志し退職。その後、弘前大学医学部に学士編入。東京都立松沢病院にて臨床初期研修修了後、東京大学医学部附属病院精神神経科に所属。現在、note、面白法人カヤック、リモティーなど20社弱の企業にて、産業医及びカウンセリング業務を務めるほか、メディアでも積極的に発信を行っている。

- (他のテーマ) ・ がんばらない めんどくさくない人間関係を築くコツ
 ・ 元サラリーマンの精神科医が教える 働く人のためのメンタルヘルス術